

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H27.11.30現在)

	11月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成27年度(今年度)	6件	63件	4人	17人
平成26年度(昨年度)	4件	75件	4人	29人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

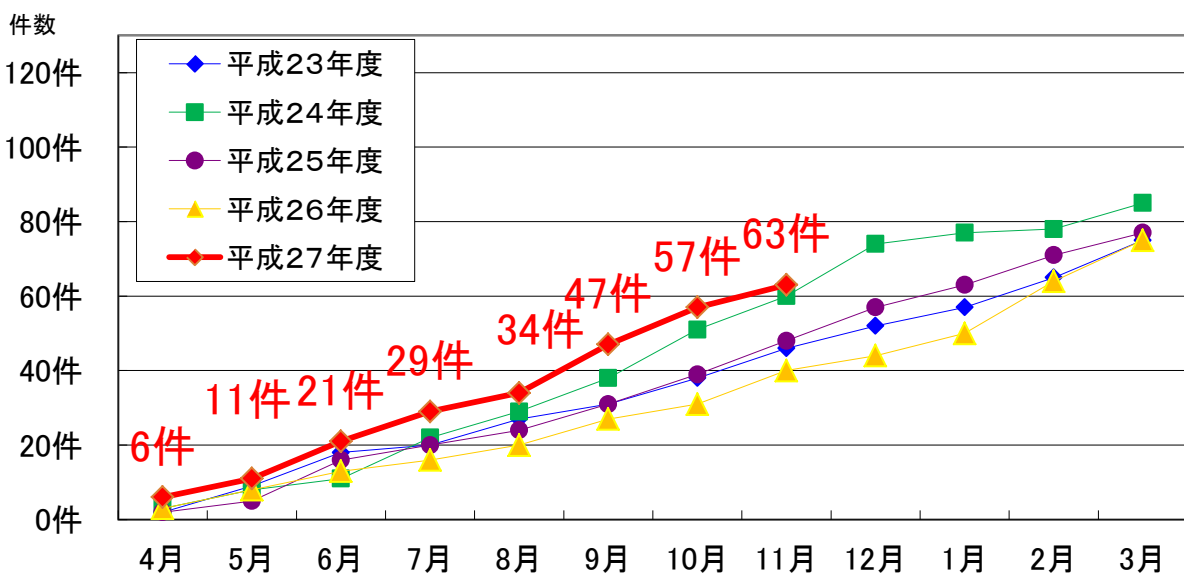
注2) 「11月発生件数」は、11/1～11/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

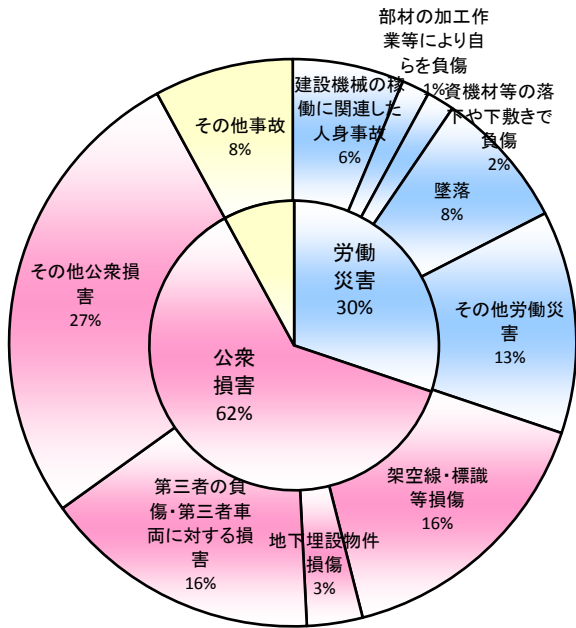
注5) 平成27年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	31件 (4件)	40件 (9件)	44件 (4件)	50件 (6件)	64件 (14件)	75件 (11件)
平成27年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	11件 (5件)	21件 (10件)	29件 (8件)	34件 (5件)	47件 (13件)	57件 (10件)	63件 (6件)				

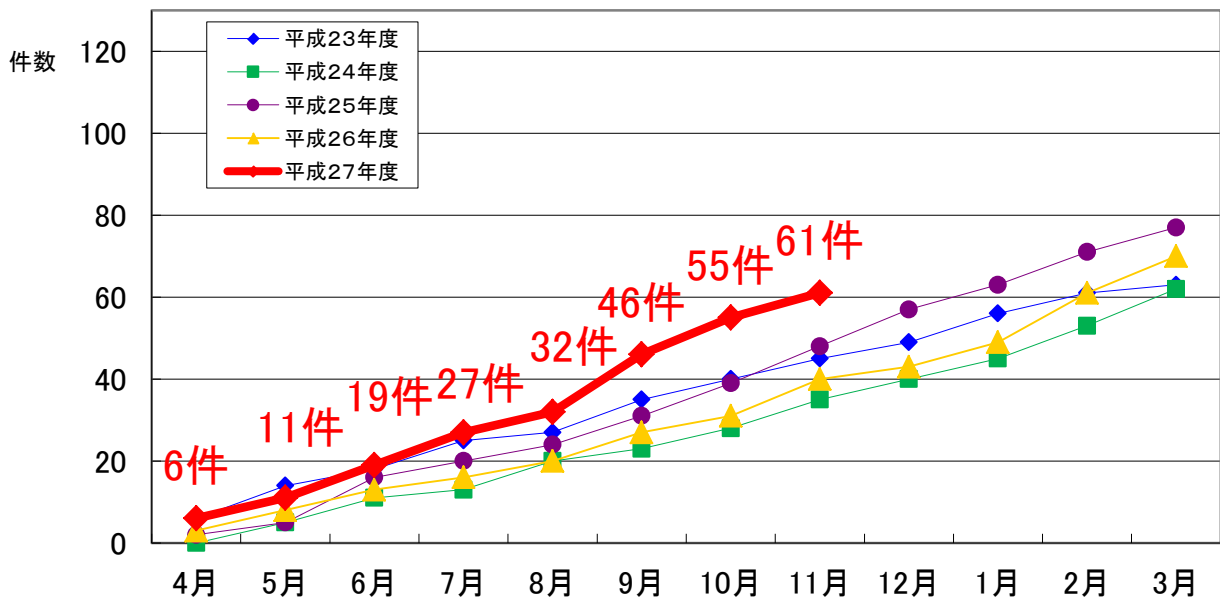
●平成27年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H25	H26	H27	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	4	14
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	2	1	8
	資機材等の落下や下敷きで負傷	6	4	1	11
	墜落	6	6	5	17
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	6	14	8	28
小計		30	30	19	79
公衆損害	架空線・標識等損傷	5	8	10	23
	地下埋設物件損傷	12	7	2	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	16	21	10	47
	その他公衆損害	10	8	17	35
	小計	43	44	39	126
その他事故		4	1	5	10
計		77	75	63	215

● H27年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

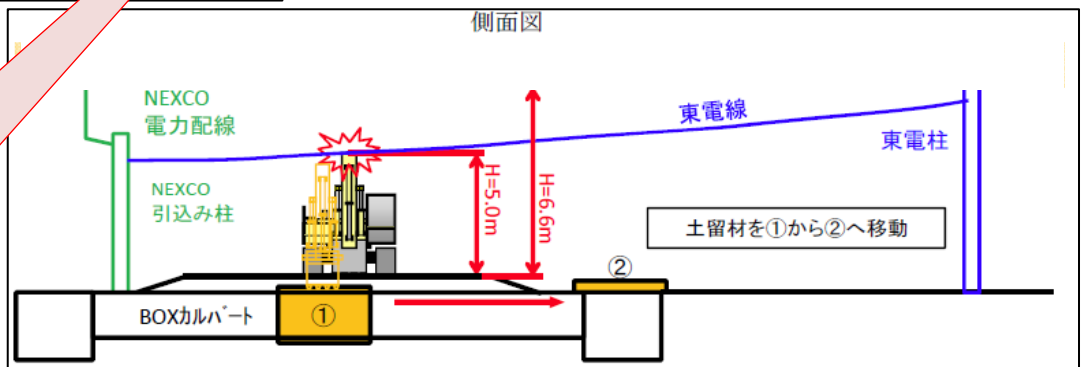
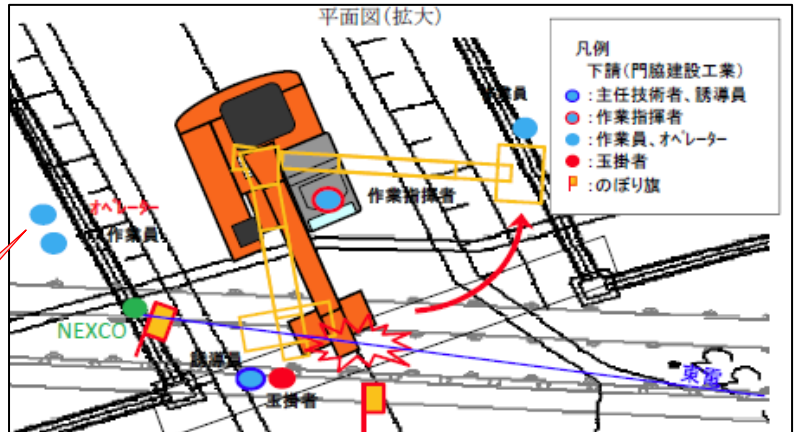


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度 累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
(月毎)	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)
平成27年度 累計	6件	11件	19件	27件	32件	46件	55件	61件				
(月毎)	(6件)	(5件)	(8件)	(8件)	(5件)	(14件)	(9件)	(6件)				

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・古賀 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 27 年 11 月 13 日 (金) 14 時 15 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	速度規制標識・情報板の架空線切断
事故概要	バックホウにて簡易土留め材料を移動していたところ、架空線に接触し切断させたもの、速度規制標識・情報板が表示されなくなったもの 公衆損害－架空線・標識等損傷			

事故発生状況



オペレータが作業を行い、作業指揮者がバックホウを運転していた。

- ・ボックスカルバートの敷設後、埋戻し作業を行う為にバックホウで簡易土留の撤去、移動を行っていた際、バックホウの旋回時に電力線(東京電力)をアームで接触損傷させた。
- ・オペレータでない作業指揮車がバックホウの運転を行っていた。
- ・誘導員は主にバックホウの刃先を見ていたため、上空の確認に配慮が欠けていた。

【事故発生原因】

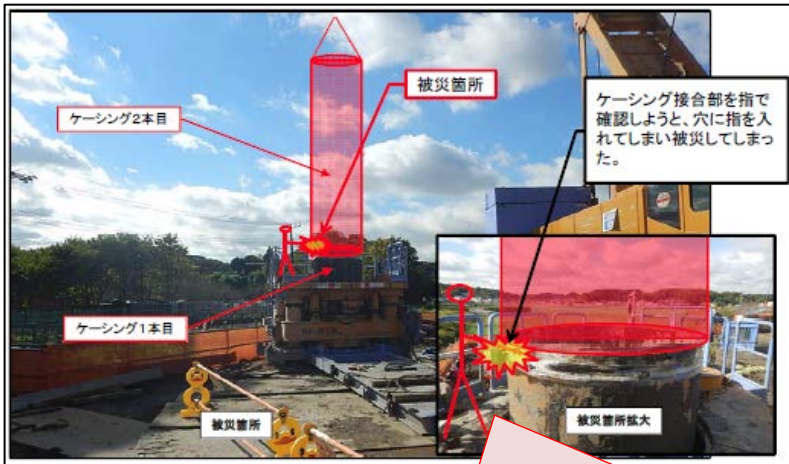
- ・架空線に対する安全対策不足
- ・役割分担が不明確であったなど

【事故防止のポイント】

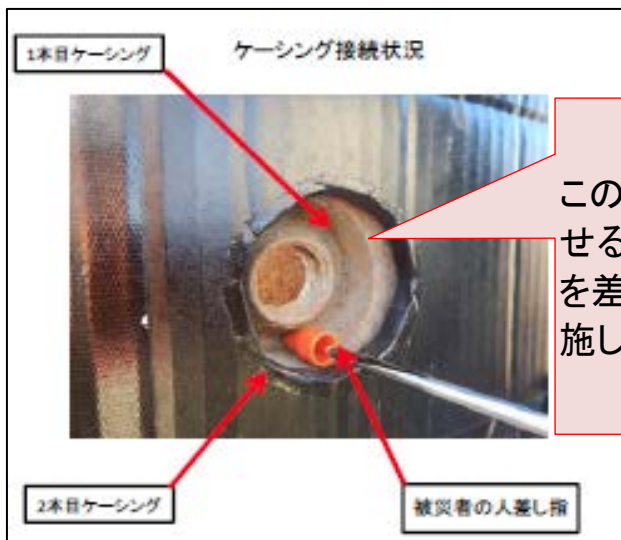
- ・三角旗等による注意喚起を実施する
- ・役割分担を明確にし、周知・徹底するなど

発生日時	平成 27 年 11 月 19 日 (木) 8 時 42 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男			左人差し指切断()
事故概要	場所打杭の立て込み時にケーシングの連結部に左人差し指を挟み、第一関節の切断したものの 労働災害-その他工事関係者事故			

事故発生状況



1本目と2本目のケーシングを接続作業中に指を挟み負傷



・ケーシングの1本目と2本目を接続するために、ボルトの穴を合わせる作業を行っていたところ、ボルト穴に指を差し込んで作業していた。

・その際、クレーンオペレーターがまだ正確に接続をされていないと思い、5cm程度2本目を巻上げてしまい、1本目と2本目を接続する穴に入れていた指が挟まれて、第一関節より先部分を切断した。

・人員が普段より1人少なかったため、普段と異なる人員配置となっていたが、配置換えに伴う、各々の作業の留意事項を再確認しなかった。

【事故発生原因】

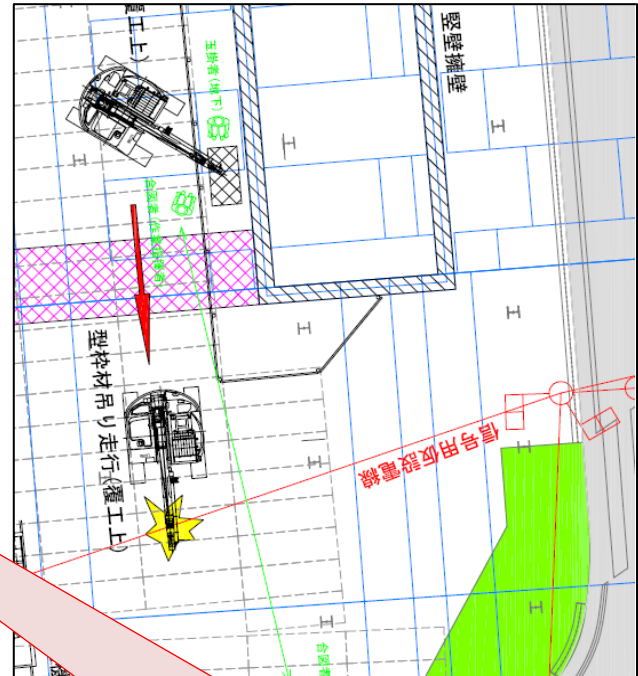
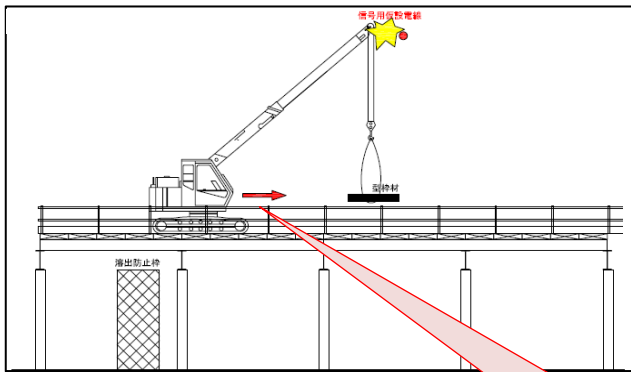
・クレーンオペレータが合図者の合図もなく巻き上げ作業をしてしまった
など

【事故防止のポイント】

・作業内容、作業手順、人員配置等の確認・周知をしたうえで、的確な作業指示を行う
など

発生日時	平成 27 年 11 月 21 日 (土) 13 時 20 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	信号機が5箇所点滅となった
事故概要	型枠材を、移動させる際にクローラークレーンのブームが信号用仮設電線に接触し、交差点の信号が滅灯となったもの(信号柱から引き抜かれた) 公衆損害-架空線・標識等損傷			

事故発生状況



作業予定外の作業をしていた際、架空線に接触

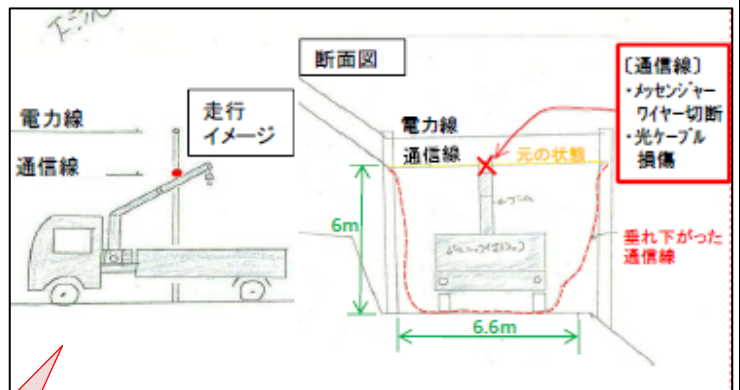
- ・4.9tクローラークレーンで函渠の頂版上の型枠材を覆工板上に荷揚げし、移動させる際にクローラークレーンのブームが信号用仮設電線に接触した状態で走行したため、信号用仮設電線が信号柱から引抜かれた状態となり、交差点の信号(5箇所)が滅灯となったもの
- ・型枠材の荷揚作業は後日予定されていたが、事故当日は、空き時間ができたので、作業員の独断で作業を行ってしまった。

【事故発生原因】
 ・作業予定外の作業を実施
 など

【事故防止のポイント】
 ・作業内容に追加・変更等が生じた場合は、計画・手順の見直しを行ったうえで作業を実施させる
 など

発生日時	平成 27 年 11 月 25 日 (水) 15 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 橋梁上部工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	CCTV線等切断
事故概要	ユニック車に資機材を収納後、アームを下げずに走行し、光ケーブル(CCTV)等を切断したものの 公衆損害-架空線・標識等損傷			

事故発生状況



ブームを上げたまま走行し、架空線に接触



- ・ケーブルクレーン載荷試験におけるウエイトの搬出作業をユニック付トラック(6t)で行っていたところ、CCTV光ケーブル等を切断させたもの。
- ・その際、ブームを下げずに移動していた。
- ・安全対策を実施していなかった。(のぼり旗・三角旗等)

【事故発生原因】

- ・架空線に対する安全対策不足など

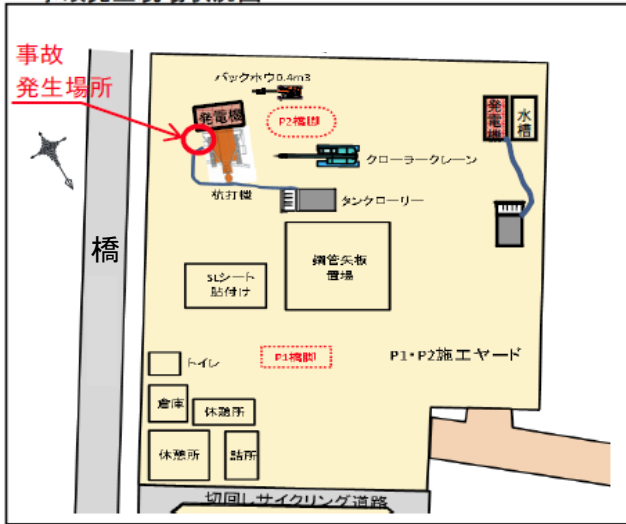
【事故防止のポイント】

- ・事前確認及び周知・指導の徹底不足
- ・アームを上げたまま走行しない等の周知・徹底不足など

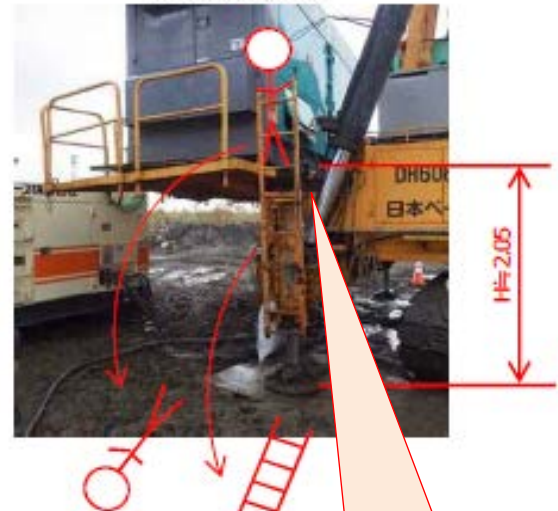
発生日時	平成 27 年 11 月 10 日 (水) 14 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	62	—	第一腰椎圧迫骨折(1ヶ月の安静・加療)
事故概要	杭打機の給油作業後、昇降タラップのボルトが抜け落ち地面に転落し負傷したもの 労働災害-墜落			

事故発生状況

・事故発生現場状況図



事故発生状況写真



仮締め状態のボルトが外れ、ハシゴと一緒に落下し、負傷

・墜落前の状況



・ボルトが外れた状況



外れたボルト



・杭打機の現地組立ての際、昇降用ハシゴ固定用のボルト・ナットの締め付け作業をしていた作業員が、作業途中で、他の作業の応援要請を受けたため、ボルト・ナットを仮締め状態でその場を離れた。現場に戻った後も、ボルト・ナットが仮締め状態であることを忘れて組立てを完了した。その後、ハシゴ部の確認を行わずに杭打機を使用し、事故当日、給油業者が給油を行い、給油後地上に降りるためにハシゴに乗り移った際、ハシゴを固定するボルト・ナットが脱落したことに(脱落時期は不明)により、ハシゴが脱落し、給油業者も一緒に地上に落下した。

【事故発生原因】

・点検・設備状況の確認に不備があったなど

【事故防止のポイント】

・点検・設備状況の確認を適切に行い、安全管理を徹底するなど